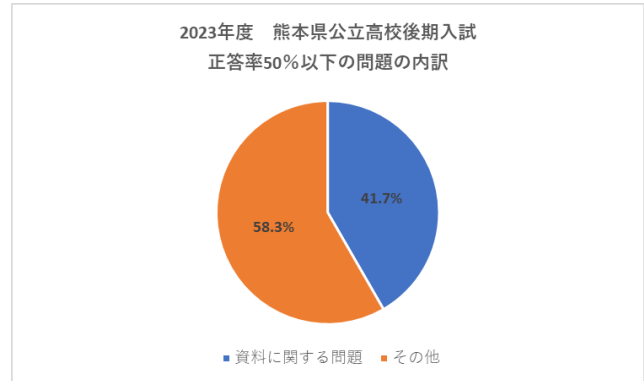
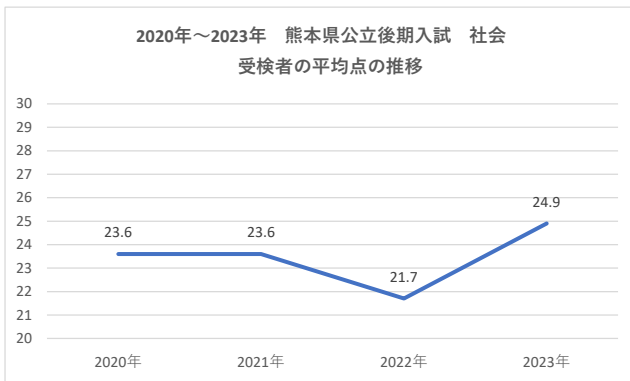


★ 熊本県 公立後期入試 社会の分析



★POINT

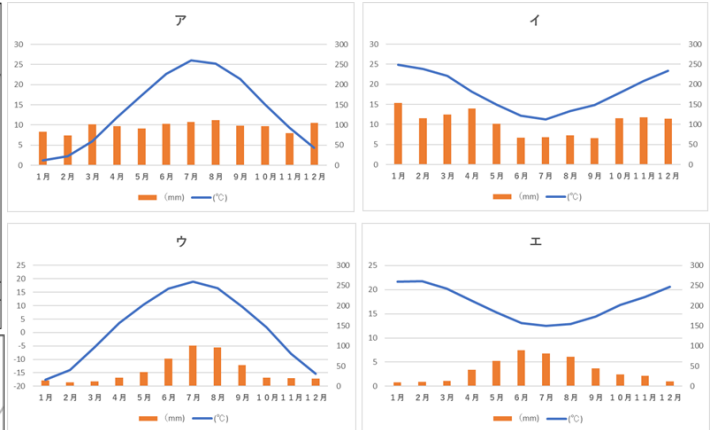
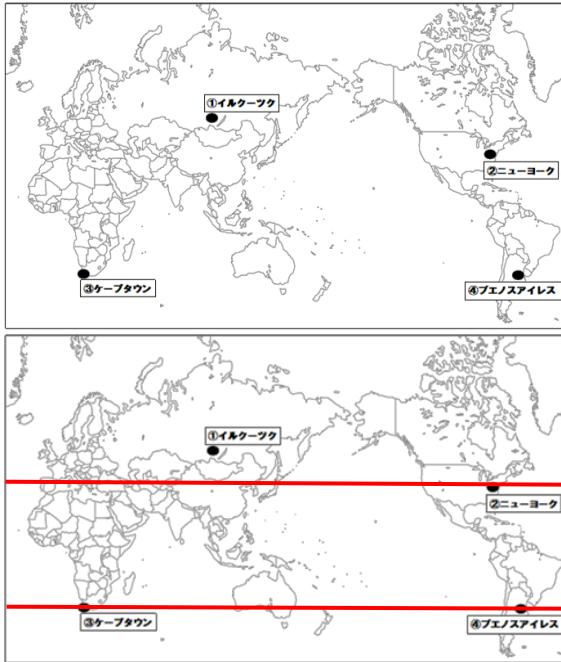
- ① 直近4年で平均点が25点以下(得点率50%以下)となっている。
- ② 正答率50%以下の問題では、資料に関する問題が約4割出題されている。
⇒熊本高校・済々黌高校合格のカギとなる問題である。

★ 問題の解き方について

- ① 問題で問われていることを確認する。
- ② 資料のタイトル、単位や項目を確認し資料を把握する。
- ③ 判断しやすい選択肢から消去法で解く。

次のグラフは、地図にある①～④のいずれかの都市の気温と降水量を表したものである。地図にある④の都市に当てはまるグラフを次のア～エの中から一つ選んで、その記号を答えなさい。

●地図



(気象庁 HP より作成)

★正解へのアプローチ

- ① 問われていること: ④に当てはまる雨温図を選ぶこと。
- ② 資料の把握: 雨温図。縦軸は気温と降水量、横軸は月。

★解法のポイント

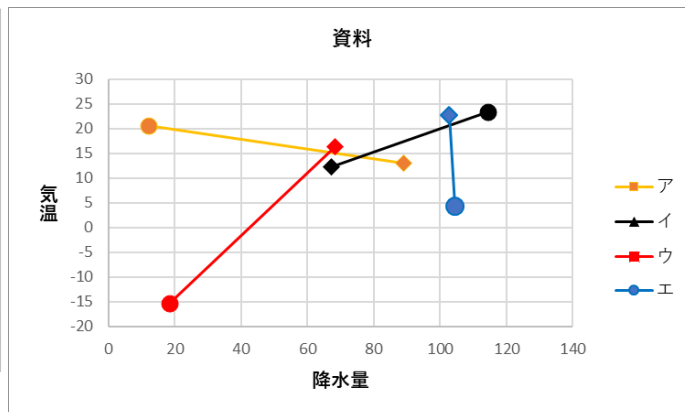
- ④は南半球である ⇒ 北半球と季節が逆になる。: イもしくはエ
- 地中海性気候は、北緯40度と南緯30度付近の大陸西岸に位置する。よって、③が地中海性気候となり、エが当てはまる。

※④は温暖湿潤気候であり、パンパと呼ばれる草原が広がっている。

正解: イ

次の資料は地図中の①～④にある地点の6月の平均気温と降水量を◆で示し、12月の平均気温と降水量を●で示し、それを結んだものである。資料の②にあてはまるグラフをア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

●地図



(気象庁HPより作成)

★正解へのアプローチ

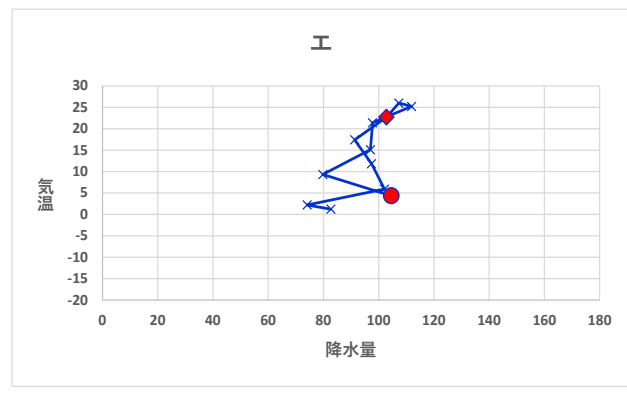
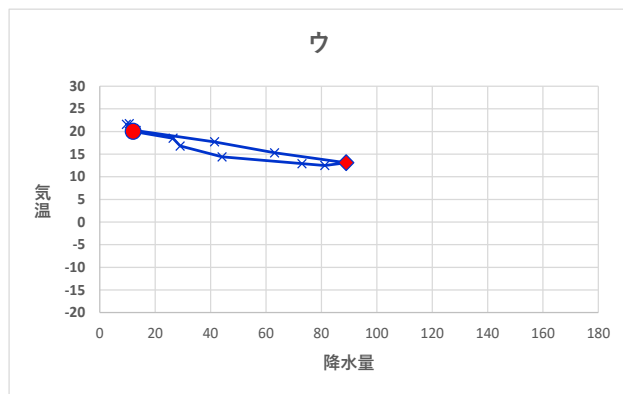
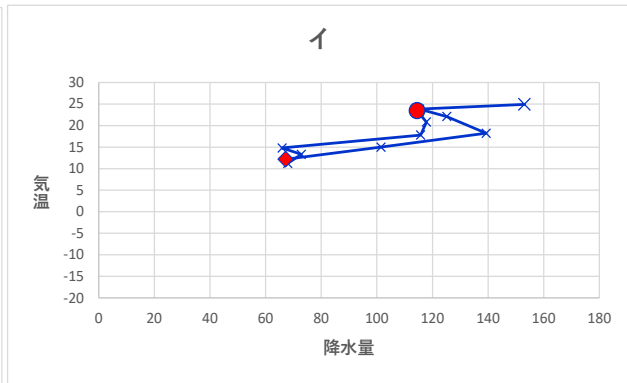
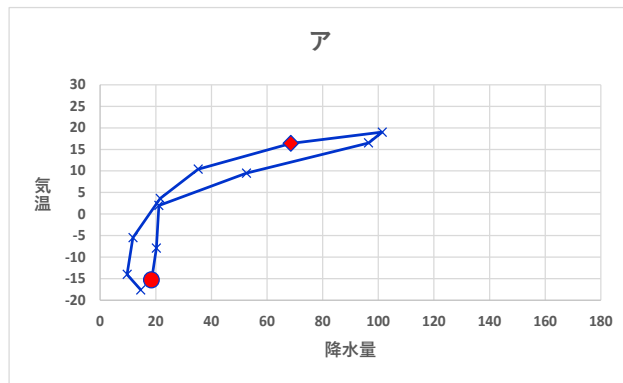
- ① 問われていること: ②に当てはまる雨温図を選ぶこと。
- ② 資料の把握: ◆は6月 ●は12月。縦軸は気温。横軸は降水量。

★解法のポイント

- ・ アとイは6月の気温が12月の気温より低い: 南半球に位置すると考え、③と④
- ・ エは最低気温がもっとも低い: 気温差が大きくなる内陸に位置する気候のため、①となる。
- ・ 以上より、エ=②となる。

正解:エ

■ 次の4つのグラフは地図中の①～④の月ごとの気温と降水量を×で示したハイサーグラフであり、6月の気温と降水量を◆で示し、12月の気温と降水量を●で示しているものである。
 ①に当てはまるグラフを次のア～エから選び、記号で答えなさい。また、そのように判断した理由も答えなさい。



(気象庁HPより作成)

◎今回の学習を踏まえましょう！

1) ①に当てはまるグラフを考える。

- ・①は北半球であるので、6月が12月より気温が高くなる⇒アまたはエ
- ・①は内陸に位置するので、気温差が大きくなる⇒アが正解

2) 判断した理由を考える。

※1)で考えたことを箇条書きで押さえ、まとめるようにする。

- ・①は北半球であり、6月が12月の気温より高くなる。
- ・内陸に位置するので、気温差が大きくなる。

正解

記号:ア

理由:①は北半球であり、6月が12月より気温が高くなると考えられる。また、同じ北半球である②より内陸に位置しているため、気温差が大きくなるアが正解だと考えられるから。